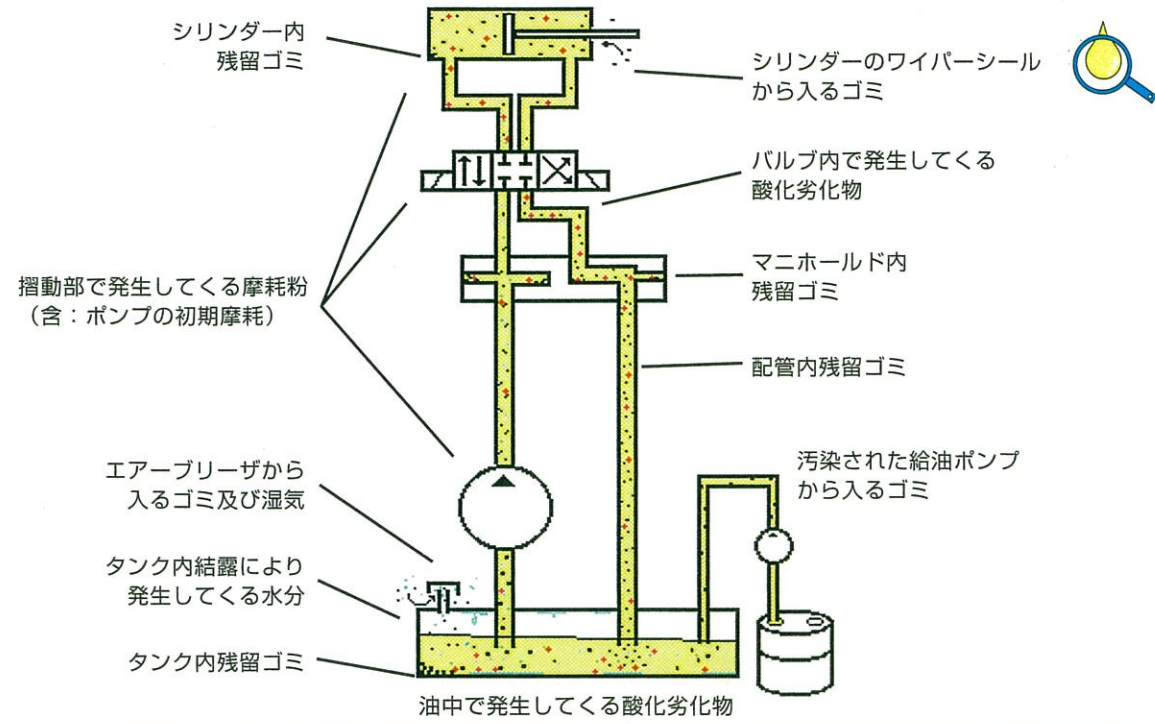
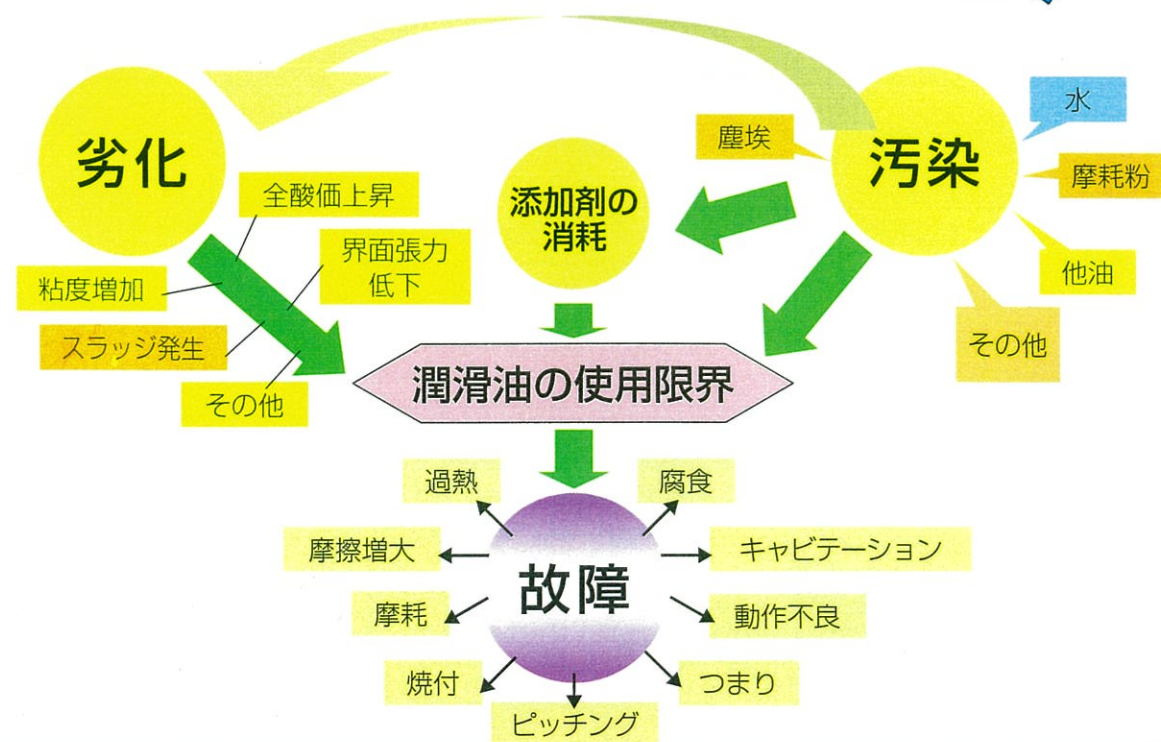


油圧機械の潤滑管理は「汚染物の侵入と発生」との戦いである。



全ての汚染物は、タンクに戻って再び循環している。よってタンク内をいつもクリーンな状態にしていれば、汚染によるトラブルの大半が防げることになる。

潤滑油の劣化と故障の関係



オイルクリーナの定義

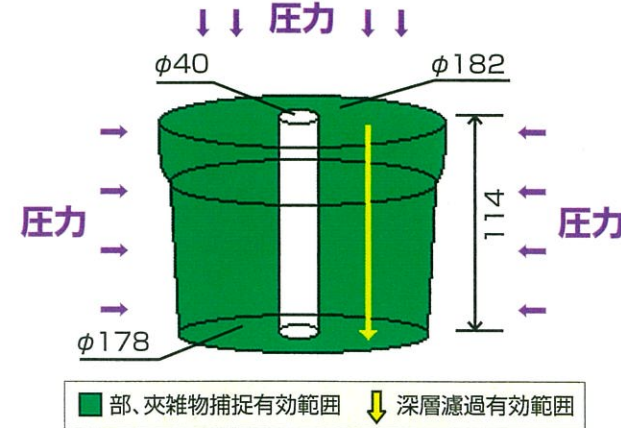
オイルクリーナはコンタミネーション・コントロール機器として単体で下記の3つの能力を有する機器とする。

油中のゴミの除去

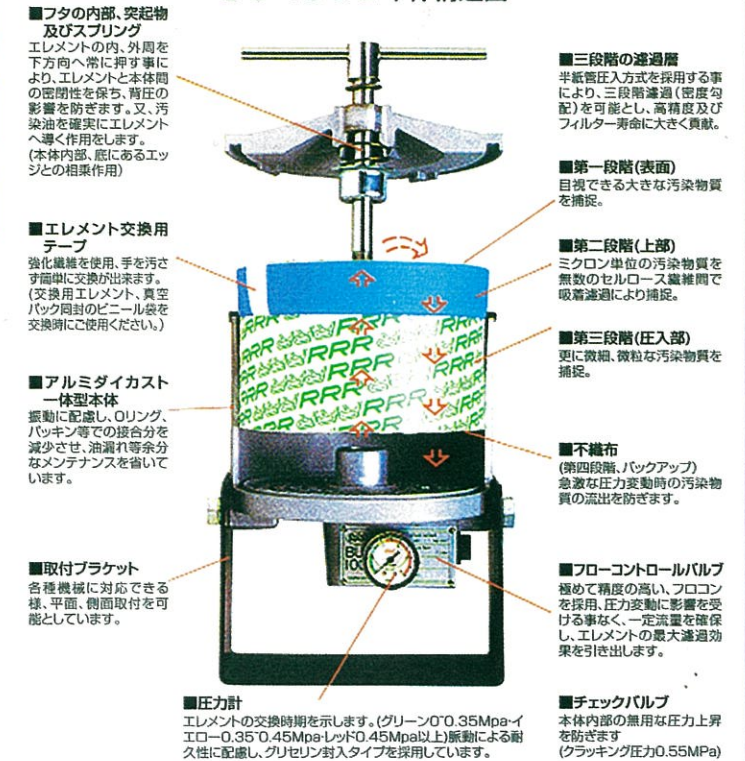
油中の水分の除去

油中の酸化劣化物の除去と抑制

・(OSCAシリーズは、上記に加え油中の気泡も除去)
★オイルクリーナとして世界初の機能



BU-100E 本体構造図



☆「オイルクリーナ」はトリプルアール社が創作・普及させた造語です。

オイルクリーナエレメントの3つの能力

トリプルアール専用濾紙 (特殊配合・特殊抄紙セルロース繊維)

- 固形夾雑物
- 水
- 酸化劣化物

繊維間に取り込まれた劣化物

一般ペーパーフィルター 濾材強度の問題上、濾材表面を樹脂等でコーティングしている為、吸着能力無し

1.ゴミ(固形夾雑物の除去)

濾過前 NAS12over → 濾過後 NAS5級

2.水分の吸着

濾過前 水分0.1%以上 → 濾過後 0.02%

3.酸化生成劣化物の除去

濾過後 ← 濾過前 スラッジ等酸化劣化物生成物の除去

一般フィルターの濾過方式

- ◆ 濾材表面の穴にゴミ(固形夾雑物)を引掛けて除去する。
- ◆ 水分吸着・酸化劣化物の除去はできない。
- ◆ 面積を増やす為に蛇腹状に濾材を折ったフィルタとなる場合が多い。